

協働のまちづくりに向けた「未来づくり懇談会」議事録（主旨要約）

□日 時	5月7日（火）午後7時～午後9時
□会 場	英比小学校体育館
□参加者	町側11人、地区側25人

1. あいさつ（町長）

本町は、今年、町制施行60周年を迎え、33の記念事業を行います。すでにその事業として英比保育園も開園し、その他事業も順次行われています。そして、6月21日には田んぼアート、アグピーの着ぐるみのお披露目式も行われ、11月3日の記念式典の日が続きます。また昨年度スタートした「住民税1%町民予算枠」制度にて採択された「わくわくアイデア事業」「わくわくコラボ事業」も住民の皆さんと協働で進められています。現在、人口は約27,050人と増加していますので、子育てに力をいれていかなければならない状況ですので、今後、東部小学校の増築を行います。

重点施策について

- 新庁舎建設事業費14億2,300万円。建設場所は公民館南館跡地です。平成27年秋に完成予定。新庁舎に隣接して町民ホールも建設予定。
 - 循環バス対策事業費として2,418万円。今年度はバス停を2箇所追加します。また始発時間を繰り上げ、阿久比駅からの電車接続を改善する予定です。
 - 防犯カメラ設置事業445万円。最近町内の公園等で放火が発生しております。よって犯罪抑止のために多賀前交差点、板山交差点、山田中央公園他に防犯カメラを設置します。
 - 小学校空調設備整備事業（東部小学校空調設備設計）83万円。空調の整備設計をして、今後、東部小学校に空調設備を設置する予定です。
 - 幼稚園改修事業477万円。ほくぶ幼稚園に空調設備を設置します。
 - 花かつみ園整備事業1,044万円。散策路整備のため池周辺にフェンスを設置します。
 - 町制60周年記念事業2,699万円。記念式典には山車まつりを行います。そのほかにはプレミアム商品券、田んぼアート事業等33事業を行います。
 - 住民税1%町民予算枠事業
 - わくわくアイデア事業（7事業）280万円。子供用品リユース市、災害時協力井戸事業などです。
 - わくわくコラボ事業（18事業）796万円。出会いサポート事業、ごんげん山整備事業、避難所体験シミュレーション事業などです。
- 配布資料に基づき今年度の予算について紹介する。予算総額149億9千万円。前年度に比べ13億5千万増となり過去最高額となった。一般会計予算（91億44百万）は、数年右肩上がりです。町民1人当りの税金は138,599円、町民1人に使用されるお金は338,617円で税金の約2.5倍です。

予算の主な使いみちとして、一般会計予算のうち総務費、民生費、衛生費、労働費、農林水産業費、商工費、土木費、消防費、教育費などの主要事業について資料をもとに説明する。

人口の動向としまして全体では、陽なたの丘地区が増加していますので、増えていますが、地区によっては人口減や高齢化率が高くなっているところもありますので、このことについても検討していかなければならないと思います。

各地区の人口増減、高齢化率、少子化率について紹介する。

来年度の「住民税 1%町民予算枠」事業の申請も受け付けておりますので、ぜひご応募ください。また町制60周年記念事業にも町民の皆様の参加をお待ちしておりますので、よろしくお願いいたします。

2. 「住民税 1%町民予算枠」制度 について説明（政策協働課長）

わくわくアイデア事業について・わくわくコラボ事業について
制度の概要説明及び募集要項に沿った各事業の説明及び町制60周年記念事業を説明。

3. 地区からの提言・質問事項についての主旨要約

質問① 高根台地区の都市計画道路の早期完成と交渉状況について問います。
(高根台)

答) 愛知県知多建設事務所では、都市計画道路知多刈谷線より北の都市計画道路名古屋半田線の工事を重点的に進めている状況です。この都市計画道路知多刈谷線までの施工が済み次第、順次、これより南へと整備される予定です。町としては、早期の整備に向けて、県への要望活動を引き続き行っていきます。また、この事業の進捗状況に関しては、愛知県知多建設事務所と連絡を密にして必要な情報を得たいと考えています。(建設経済部長)

提言) できれば東浦町と阿久比町同時に着工するとか、土地収用も考慮して進めてください。(高根台)

答) 同時に進めていただくよう、県にお願いしておりますし、用地の地権者で、阿久比町でたくさん土地を所有している方と用地交渉を進めております。なるべく早く進むよう努力しておりますので、ご理解ください。(建設経済部長)

関連質問) 今回の懇談会は、ここでのやりとりだけですか。何か回答はありますか。
(高根台)

答) 議事録を作成しまして、各行政協力委員様へ8月頃までにお渡しします。
(政策協働課長)

質問② 地域の特性に合せた防災強化として、街角に消火器の設置と消火栓ボックスを舗装された歩道や電柱に取付けについて検討願いたい。(高根台)

答) 昨年実施した近隣市町の街頭消火器設置調査では、4市2町で実施していて、その内3市1町が「自主防災会」の管理となっていました。

本町には「防災資機材補助金」制度がありますので、この制度を利用して近隣市町と同様、自主防災会で設置・管理をお願いします。

次に、消火栓ボックスを歩道への設置については、道路管理者である町の建設環境課と協議をしたところ、植樹帯への設置であれば可能とのことですが、歩行者の妨げにならないように管理していただき、個人の入口等に対して、支障にならないよう了解を得ていただければ、設置する予定です。また、電柱への設置につきましては、自転車、歩行者等に対して非常に危険でありますので、電柱への取付けは考えていませんので、ご理解いただきたいと思います。(総務部長)

関連質問) 高根台は高台にあるので、消火の水利確保が難しいと思われます。消火栓は35個ぐらいありそのうちホースのふくろ箱があるのが6箇所しかありませんので、地域的なバランスを考え、町として検討してください。(高根台)

答) 消火器はご家庭の初期消火として考えていただき、火災のときの消火は消防署が対応するというので、消火器については各ご家庭での設置をお願いします。(総務部長)

関連質問) 再度言いますが、高根台は地理的な面で消防署の活動が難しいのではないかと、町として高根台独自の消火体制を検討していただけないか。(高根台)

答) 資機材補助金制度がありますので、ご活用ください。(総務部長)

関連質問) 消火栓ボックスですがフェンスとか木に設置するのが、困難な場所がありますのでもう少し柔軟な設置基準をお願いします。(高根台)

答) 植樹帯やブロック塀でもご了解がいただければ、設置ができますので、よろしくをお願いします。(総務部長)

関連質問) 高根台は高台にありますので、消火活動が他の地区より難しいと思われるのでその地区、地区にあった防災対策をお願いします。(高根台)

答) 資機材補助金制度で地区にあった資材をそろえてください。(総務部長)

関連質問) 資機材補助金制度は金額の限定はありませんか。高根台としては自治会の方でいろいろ防災対策をしていますが、それでも不足ですので、町の方で対策をお願いできませんか。(高根台)

答) 補助率は2/3で、10万円ですので、計画的に整備をお願いします。(総務部長)

質問③ 各地区の老人会に対する補助金制度の見直し(高根台)

答) 老人クラブの補助金につきましては、会員の数の「会員割」とクラブの数の「クラブ割」で積算しております。また、県の補助制度も市町村のクラブ数で積算されています。平成24年度の高根台では、3クラブと会員数184人で積算しておりますのでよろしくをお願いします。

具体的には、高根台では、平成24年度の会員数184人に対し1人当たり280円を交付する「会員割」として51,520円、1クラブ当たり62,400円交付する「クラブ割」として3クラブ分187,200円の合計238,720円を交付させていただいております。しかし、1地区1単位とした場合、クラブ割は62,400円となり、交付金の合計は113,920円(▲124,800円)しか交付されません。このことから、現行の活動団体に対する補助金制度(1クラブおおむね50人以上)は、各地区において大変有利に交付されておりますので、今後も現行制度を継続してまいりたいと考えておりますので、ご理解いただきたいと思っております。また、今年度の高根台地区はクラブ数が4、会員数216人で積算しています。(民生部長)

提言) 50人単位で無く例えば100人以上はいくらかというふうに別に県のやり方でなく地域に合せた単位区の数で補助金の換算をするように制度を検討していただきたい。(高根台)

答) 県の制度は1クラブで補助金を出していますが、町はクラブ単位プラス会員数で1人当りを換算しておりますので、各地区平等だと思っております。(民生部長)

提言) 地区で活動は全体で行っていると思っておりますので全体で補助金を出すように、これから検討してほしいということです。(高根台)

答) 地区によってはクラブ単位で活動しているところ、全体で活動しているところもありますので、補助金につきましては、町はクラブ数割と人数割りで補助金対応しております。(民生部長)

提言) これからは高齢者の方の力を借りて、地区全体で行った方がいいと思っておりますので、今すぐにはなく、今後検討してください、ということです。(高根台)

答) 地区ではこれから全体で行動していく方がいいと思われませんが、現在県からの補助金のシステムとしては、クラブ数で計算していますので、1 つにしてしまうと補助金が下がってしまうこととなります。県の補助金システムについて今後、担当課長会等で意見を提言していきたいと思えます。(町長)

提言) よろしくお願ひします。(高根台)

質問④ 防犯パトロールの積極的な広報と実施地区の増加による安全安心な阿久比づくりについて(高根台)

答) 防犯パトロール活動の紹介は、町ホームページや町広報で随時行っています。本年5月2日開催の青色防犯パトロール講習会では、初めての取り組みとして、「防犯パトロール活動団体連絡会議」を開催しました。これは、各地区の防犯パトロール隊の皆さんと、防犯を担当する半田警察署生活安全課、役場防災交通課が集まり、防犯活動を実施する上での課題などについてお互いに話し合う機会を設けたものです。今後もこのような活動を通じて、防犯パトロール活動の質的な向上に努めてまいりますので、地域の皆さんのご協力をお願いします。(総務部長)

関連質問) 防犯連絡会議でお願いしたことは、昨年8月より犯罪実績をケーブルテレビのホームページやFAXで送るということでしたが、その内容が阿久比町の行政区単位(大字単位)で教えてほしいと思えますが、いかがですか。(高根台)

答) 阿久比町単位ですか。(総務部長)

関連質問) 行政区では連絡されていますが、もう少し場所が詳しくなると身近に感じて住民の皆様も注意するようになると思えますので、字単位でお知らせしていただけるようになりませんか。(高根台)

答) 以前は、阿久比交番の方は、かわら版形式で出していましたが、警察の犯罪情報もあり、すべて公表されるかわかりませんが、警察の方に問い合わせをいたします。(総務部長)

提言) メルマガ安全・安心ネットでもうすでに半田警察の犯罪情報が字単位では連絡がきています。その辺の話がこの前の会議であやふやでしたので、一度整理された方がいいと思えますので、よろしくお願ひします。(阿久比団地)

答) その辺のところを警察に確認して整理させていただきます。(総務部長)

答) 現在、大字単位で情報提供されていますので、警察としても捜査情報があり、あまり詳しくは公表できないところがありますが、地区の皆様にはどのような方法

でお知らせするか、また担当の方からお知らせします。（町長）

提言) 各地区で行っている防犯パトロール等をもっと広報等で紹介してはいかがでしょうか。また防犯パトロールをしていないところは、なぜできないか町として把握して、検討していただきたい。（高根台）

答) 地区によっては、防災委員が、なかなか決まらないところもありましたが、東北の大震災後、全部の地区で選出され、防災意識が高まりつつあります。全ての地区で防犯パトロールができればベストですが、各地区の危機管理意識がありますので、広報等掲載し、他の啓発方法も検討します。（町長）

質問⑤ 将来、人口減で生徒数が減ったときに学校等の空き教室を有効活用したらいかがですか（高根台）

答) 阿久比町では、最近人口が増加しており特に保育園は保育室が足りなくて増築をして対応しました。また東部小学校では陽なたの丘の人口の急激な増加もあって、特別教室などを普通教室に変えて対応していますが、さらに不足するものと考えています。

ご提言のように、最近空き教室などを活用する取り組みがされていますが、本町の現状では空き教室等を活用するなどの状況ではないと考えています。しかし、将来そのような状況となれば、ご提言のような有効活用を検討してまいりたいと考えていますので、よろしく願い申し上げます。（教育部長）

要望) 陽なたの丘地区では増えていますが、高根台地区で英比小学校の通う児童が減少していると思いますので、あいている教室等を地域のボランティア活動等に開放して有効活用をさせてほしい。（高根台）

答) 小学校では普通の教室また特別教室もありますので事情を踏まえて使用しております。中学校では、東部地区からの小学生が多いため今後は増えていきますが、地区で使用できるようにとのご提言ですので、今後調査、検討していきたいと思えます。（教育部長）

関連質問) 今の、空き状況の実態はどうですか。（高根台）

答) 今、ここに資料がありませんので、お答えできません。（教育部長）

答) 現在、南部小学校も音楽室を外に作るぐらい、児童が増えています。また、今は少人数学級がはじまりクラスの数が増えています。東部小学校ではこれから12学級教室を増設します。そうしますと英比と草木がどうなっているかという、どちらも増えてますので、なかなか空き教室は無いと思いますが、将来的には空き教

室が出る時がくると思いますので、そのときには地区への開放等検討していきたいと思います。（町長）

関連質問) 英保育園、北原保育園は閉鎖すると聞いておりますが、その後、利用はどのようにされますか。（高根台）

答) 今は検討中でありまして、休園体制をとりまして、保育施設が足りない場合はまた利用したり、特化した保育施設等も検討しています。しかし、町としては今から庁舎建設が始まりますので、その間庁舎の倉庫としての利用を考えていますので、現在は地域の方に利用は考えていません。（町長）

関連質問) 地域のボランティア活動の倉庫としての利用はできませんか。（高根台）

答) まずは、2, 3年は庁舎の倉庫として利用し、その後は地区の皆様と利用を検討していきたいと思います。（町長）

4. 参加者との懇談

《町制全般に関して意見交換》の主旨要約

質問) 老人憩いの家を高根台に作ってほしいですが、なかなか難しいので、空き家を借りた場合町の方で補助金や町で借り上げはできないですか。（高根台）

答) 今のところ町としては考えておりませんので、今後の検討課題とさせていただきます。（民生部長）

要望) 今は、学区に1つということですが、地区に1つぐらいになるように要望します。（高根台）

答) 宅老所は学区に1つというのは私も少ないと思います。今は、サロンをモデル的に施行していますが、この地区はどうですか。（町長）

要望) サロンは、現在、白沢台、宮津、大古根地区で行っていますが、予算の関係上他はできない状況なので、もう少し、柔軟に対応をお願いします。（高根台）

答) やはりこれからは、高齢化率が上がっていますので、このような施設は、必要になってきますので、地区の方の協力を得ながら進めていきます。しかし、実際ボランティア等でお手伝いをされている方は、かなりの負担になっているのが現状です。ですから皆さん方から場所を提供していただき、ミニ宅老所等を社会福祉協議会と相談し、検討していきたいと思います。（町長）

要望) 高根台は、サロン活動は活発にやっていますので、今すぐということではありませんが、前向きに検討してください。よろしくお願いします。(高根台)

閉会のあいさつ)

地震時に津波に関しては、阿久比町は、ほとんど影響がないと国の方から発表がありました。後は、建物の倒壊と火災について考えなければならないということ、水利確保に水圧を上げるため、小形のポンプ等も担当部局と検討しています。また、消火栓ボックスの予算はありますので、地区の皆様のご協力をお願いします。また役場の方も役に立つ場ということで、職員一同がんばりますので、今後も、よろしくお願いたします。(町長)